



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

令和元年10月30日
我孫子市小中一貫教育だより
第221号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ふるさと、Abi-ICT を活用した授業が行われたうなー！

10月は、いろんな小学校で我孫子の先人やICT関連の学習が行われました。今回は、その一部を紹介します。

我孫子第一小学校 井上二郎

10月9日に、6年生が我孫子の先人「井上二郎」について学習しました。3年生で学習した手賀沼干拓について資料（「わたしたちの我孫子」）や、「ふるさと我孫子の先人たち」を活用して、これまでの学びを活かしながら、井上二郎氏の功績と現在の手賀沼の姿について理解を深めました。子どもたちからは、今、我孫子で安心して暮らすことができるのは、井上二郎氏のおかげだと、その功績に尊敬や感謝の声が上がっていました。



湖北台西小学校 著作権について考えよう

10月15日に、4年生が著作権についての学習をしました。まずは、著作権についてクイズを通して、その意味について学びました。子どもたちからは、これまでの生活経験から「まねをするのはダメ」「勝手に自分のものにしてはダメ」などの意見や、実際に「著作権」という言葉を知っているという声も聞こえてきました。著作権マーク©については、それぞれ自分の持ち物や、身近なものから見つけ出していました。また、自分たちが作った作品にも著作権があるかどうかについても話し合い、著作権が私たちや、制作者を守っていることを学習しました。



授業後の協議会では、授業内容についてや、今後の Abi-ICT の在り方について話題が出ました。これからの教育環境において、ICT 機器の活用が求められる中、また ICT 機器の変化も目まぐるしい中で、今後は学習の指針となるように、授業のねらいや内容、資料等をまとめ、指導方法については実際に授業をする指導者が、児童生徒の実態や、活用する ICT 機器の実態に合わせて考案していくのはどうかという意見が出されました。

「コラボノート」は、市内全小中学校に導入されている交流学习ツールうな。同一の画面に、一斉にみんなの書き込みを反映させることができるうな～。



湖北台東小学校 PCを使ってお絵描きをしよう

10月18日に、1年生がパソコンのお絵かき機能を使って、お絵描きをする学習をしました。この日、コンピューター室に入るのは3回目となる子どもたち。最初の確認タイムでは、パソコンを利用するときの約束や、マウスの使い方など、次々と子どもたちの口から飛び出し、これまでの学びがよく身についていることが伝わってきました。先生が、様々なお絵描き機能を紹介すると、その度に「おー！」「すごーい！」と



と吹きが聞こえ、興味津々です。一方で、上手にできるか、緊張している子も。最初は思い通りに作業が進まず四苦八苦していましたが、だんだん機能に慣れて楽しそうに活動していました。時間があっという間に過ぎて、完成までは、もう少しというところで終了。最後に保存の仕方を学習して、また次回の学習を楽しみにする子どもたちの様子が見られました。

新木小学校 学級みんなで温かい寄せ書きを作ろう！

10月21日に、3年生が情報モラルについての学習をしました。まずは、「手紙」を題材に、文字による伝え方、伝わり方について、具体的な例を通して学習しました。子どもたちは、「手紙」のやりとりから気持ちのすれ違いが生じる様子に、直接対面して話すのと、文字だけでやりとりする情報伝達特性の違いに気づきました。



そこで、できるだけ伝わりやすく、温かい言葉を使うことを大切にして、コラボノートで学級の寄せ書きを作りました。コラボノート上では、子どもたちが、何度も言葉を選び直して、書き込む様子が見られました。

協議会では、パソコンをはじめ、様々なICT機器について、簡単なことから低学年より系統的に学び、実際に活用していく必要性について意見が出されていました。また、今後のICT環境の変化についても触れ、現在我孫子市が整備しているICT機器の活用をさらに推進する大切さを共有する機会となりました。



並木小学校 「楽しいコミュニケーション」を考えよう！

10月24日に、5年生が情報モラルについての学習をしました。事前の実態調査から、すでに携帯電話やスマートフォンを所有している子どもたちや、これから使ってみたいと思っている子どもたちに、身近なSNSアプリを題材に取り上げました。



先生からの一つの問いかけに、多様な答えを返す子どもたち。そうした対話形式で授業が進む中で、子どもたちは、人によって、問いの答えや、考え方、受け止め方が違うことに気づきました。そして、「人に言われて嫌だと感じる言葉」やSNSでのコミュニケーションで困ることなど、カードを使って互いの考えを示すと、その程度にも差があることを学びました。



授業の振り返りでは、相手のことを考えた言葉の選び方や、SNSの使い方の大切さはもちろん、コミュニケーションを図る上で、これから、もっと相手を理解したいという仲間への思いが書かれていました。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

令和元年12月11日
我孫子市小中一貫教育だより
第222号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなきちさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT を活用した授業が行われたうなー！

11月も、たくさんの小学校や中学校でICT関連の学習が行われました。今回も、その一部を紹介します。

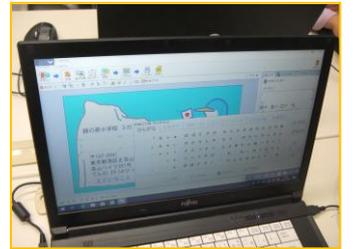
根戸小学校

著作権・個人情報・コミュニケーションのマナー



11月7日に、4年生で著作権についての学習が行われました。子どもたちは、身の回りの©（コピーライト）マークを見つけ、身近なものや、自分たちの作品などにも著作権があることを学びました。

また、11月26日には、2年生でパソコンのソフトを使った名刺作りと個人情報についての学習、6年生でコラボノートを活用した疑似チャット体験と、インターネット上の匿名性、拡散性などの特徴を踏まえたコミュニケーションのマナーについての学習が行われました。子どもたちは、授業の中で実際にパソコン操作を行い、パソコンのスキルを高めつつ、情報モラルについても学んでいます。ローマ字が未習の低学年では、ひらがなのクリックパレットを活用して、文字入力を行っています。



高野山小学校

パソコン（PC）で色塗りをしよう



11月26日に、1年生がPCのソフトの色塗り機能を使って、作品作りを楽しみました。子どもたちは、作品作りを通して、マウスの使い方や、基本的なPCの操作方法を学びます。マウス操作は、直接指で操作するタブレットとは違い、慣れが必要です。楽しみながらPCスキルを身につけられるよう工夫されていました。

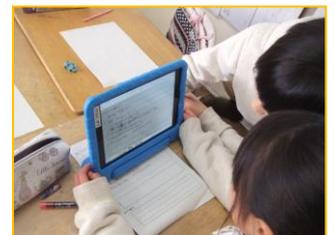


並木小学校

相手がうれしい気持ちになるメール



11月29日に、3年生でタブレット端末を活用した、情報モラルの学習が行われました。多様なコミュニケーション方法がある中で、メールの「文字だけのやりとり」という特徴をつかみ、どうすれば適切に相手に気持ちを伝えられるかについて考えました。いくつか設定された場面の中で、実際にどんなメールを送ればよいか、友達と相談しながら考えを深める子どもたち。それぞれのワークシートには、丁寧に気持ちを表現する文章が並んでいました。



久寺家中学校 情報モラル マナーを守る ルールを作る 信憑性を考える

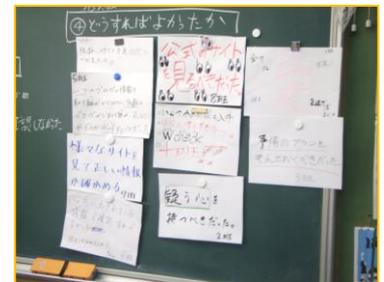
11月29日に、1年生、2年生、3年生で情報モラルについての学習が行われました。

1年生では、生活の中にある様々なルールを取り上げ、それらが何のためにあるのかから考えました。子どもたちからは、「気持ちよく生活するため」「安全のため」といった点が上げられ、携帯電話やスマートフォンを使うときのルールやマナーについても、同じ視点で考えていきました。具体的にどんな使い方がよく、またよくないのかについて話し合いを深めていました。



2年生では、映像資料をもとに、携帯電話の利便性や注意が必要な点を確認し、よりよく携帯電話やスマートフォンを使うために、家族や友達とのルール作りについて考えました。

3年生では、インターネット上の情報の信憑性について考えました。これまで、インターネットの情報をどのように役立ててきたか、自分たちの経験を振り返り、資料映像に描かれた問題点について考えました。その問題を回避するためには、どんな方法があるかについてグループで話し合い、クラス全体で共有していました。



我孫子第三小学校 マナーを守ってチャットを楽しもう



11月21日に、6年生でコラボノートを活用したチャット体験と利用のマナーについての学習が行われました。授業では、使用者の権限によっては市内全校のページを閲覧することができるという条件から、実際に他校のページを閲覧し、「いつ、だれが見ているかわからない」といった、匿名性、拡散性について体験的に学び、その経験をもとに、しっかりとマナーを守って活動する子どもたちの姿が見られました。また、疑似的なチャット体験を通して、匿名性の意義や、文字から受ける印象に

ついてなどについて感想を述べていました。

授業後の協議会では、授業内容についてや、今後のAbi-ICTの在り方について話題が出ました。中学校になると、様々なSNSアプリを使用する機会が増え、実際にトラブルに遭遇することもあるのが現状です。そんな中で、小学校の段階からこうした情報モラルについての学びを積み重ねていくことの大切さが参加した小中学校の教員にも共有されました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

令和元年12月11日
我孫子市小中一貫教育だより
第223号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

教育ミニ集会や小中一貫の日が行われたうなー！

今年度も、多くの中学校区で、中学校区合同教育ミニ集会が開かれています。また、「小中一貫の日」については、今年度から、中学校区ごとにそれぞれの計画に基づいて実施しています。

湖北中学校区 教育ミニ集会

11月11日に、湖北中学校で、湖北小学校、新木小学校の3校合同教育ミニ集会が開催されました。今年、コミュニティスクールアドバイザーの生重氏や布佐中学校区の学校支援コーディネーターの山下氏を招いて、「地域ぐるみで地域の子どもたちを育てる」というテーマのもと、講演やワークショップが行われました。各グループには、教員、地域の方々、保護者が集い、地域ぐるみの子育てについて、様々な意見が出されました。

集会を終え、参加者からは、たくさんの感想が寄せられました。それぞれの立場で、地域の子どもたちに、できる人が、できることから始めればよいことや、地域・学校・保護者が力を合わせて子どもたちを育てていく大切さ、そして開かれた学校づくりの重要性を感じたことが伝わってきました。



白山中学校区 教育ミニ集会

11月12日に、我孫子第四小学校で、我孫子第一小学校、白山中学校との3校合同教育ミニ集会が開催されました。今年、我孫子市教育研究所主査長三津山氏と、アドバイザー守屋氏を招いて、「地域・保護者との共有 ともに育てよう子ども達 ～今の子どもの特徴を知り、心に寄り添う～」というテーマのもと、講演やグループ討議が行われました。

講演では、子どもたちの遊びや取り巻く環境の変化、子育ての課題に触れ、その中で「ちょっと気になる子ども」は、「困っている子ども」であること、周りの人たちの適切な関わりと理解が必要であることなどについてお話いただきました。

その後のグループ討議では、教員、地域の方々、保護者が集い、それぞれの立場から、今の子ども達への理解や関わり方、地域で育てていくための視点など、意見が出されました。

少子・高齢化が進んでいる社会において、地域全体で子どもを「大切に」育てていくべきであること、そのためには、家庭や地域、学校がこのミニ集会のように、集って話す機会を設けることが大切だということを認識する、貴重な機会となったようです。



我孫子第三小学校 教育ミニ集会

11月18日に、我孫子第三小学校で、我孫子第二小学校、高野山小学校、我孫子中学校の4校合同教育ミニ集会在開催されました。今年、5校時の我孫子第三小学校全児童参加の「交通安全セーフティー教室」を参観してから、その内容を生かしての教育ミニ集会という流れでした。

講師に学校安全教育研究所教授の矢崎氏をお招きし、「子どもたちを交通事故から守る」と題して、交通安全についてお話しいただきました。子どもたちもさ

ることながら、大人も実は知らないことが多い交通ルールに、驚きの声が上がると同時に、子どもたちが加害者となりうる事例が紹介されると、より意識が高まったようでした。

後半のグループ討議では、学校・保護者から提案のあった、地域安全推進に関する提案についてや、現在の地域の状況について話し合われました。教員、地域の

方々、保護者それぞれから、各学区の子どもたちの通学の様子や、通学路の様子などの情報交換や、地域ぐるみで改善すべきことなどについて、たくさんの意見が出されていました。



布佐中学校区 小中一貫の日

11月27日に、布佐中学校区3回目の、布佐小学校、布佐南小学校の布佐中学校登校が行われました。布佐中学校では、この日を「小中一貫の日」としています。

今回は、小学生が中学校の先生による「体育科」と「技術科」の体験授業を受けました。体育では、男女別に分かれ、男子は柔道、女子はバドミントンの学習をしました。6年生の男子は、初めの柔道着に四苦八苦。帯を締めるのも一苦勞です。しかし、練習が始まると、慣れない受け身の動きに戸惑いながらも、楽しんで参加する様子が見られました。技術の授業では、コンピュータールームでプログラミングを体験しました。実際にミニカーにプログラ

ミングを読み込ませて走らせると、指示通りに自動で動くミニカーの様子に、感動していたようでした。

体験授業を終えた6年生からは、中学校ならではの教科学習の体験が楽しかったこと、中学校への進学がさらに楽しみになったこと等が感想として述べられました。

また、布佐小学校、布佐南小学校の教員も布佐中学校に集まり、6年生の体験授業はもちろん、普段の中学校の授業を自由に参観しました。「まずは、小学校、中学校の普段の様子を知ること」を大切に、今回の参観が設定され、小学校の教員達は、思い思いにいろいろな教科の授業を参観していました。

最後に、参加した両小学校と中学校の先生が集まり、今年度これまで3回の中学校登校を実施しての成果や課題、来年の取組に向けて、教員それぞれが意見を出し合っていくことの大切さを確認しました。





T S U N A G U

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

令和2年2月12日
我孫子市小中一貫教育だより
第224号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-道徳・ICT を活用した授業が行われたうなー！

白山中学校 郷土愛・命の大切さ

12月17日に、Abi-道徳を活用した授業や、郷土愛についての学習が行われました。



Abi-道徳を活用した授業では、資料映像をもとに、命の大切さについてそれぞれの立場に立って考えました。また、郷土愛について考える授業では、他市について取り上げた資料をもとに、我孫子市ならどうか、比較しながら我孫子の良さを見つめました。



新木小学校 PCに慣れ親しむ学習・情報モラル



1月20日に、1年生がジャストスマイルのお絵描きアプリを使って、PC操作に親しみました。また、5年生はメールやLINEなどの便利さと危険性について確認し、コラボノートの機能を使って、互いにメッセージを送り合う活動をしました。それぞれパソコンの様々な機能に触れ、興味が高まっている様子が見られました。



我孫子第二小学校 著作権を守る

1月22日に、4年生がAbi-ICTを活用して、著作権についての学習をしました。身近な映画館での体験や、身のまわりにある著作権マークをもとに理解を深め、その大切さについて学びました。また、最後はクイズを通して、学んだことを確認しました。



湖北台中学校 なぜSNSトラブルは多いのか

2月5日に、2年生で情報モラルについて学習しました。LINEなど、SNSでのトラブルの具体的な資料を確認したあと、その原因について班ごとに話し合いました。匿名性や文字だけの表現による思い違いなど様々な要因がある中で、トラブルをなくすために自分たちができる対処法について考えました。



授業後の協議会では、SNSに関する学校間での情報共有の必要性や、情報モラル意識を高める手立て、また今後のAbi-ICTを含むAbi☆小中一貫カリキュラムの改訂について話し合いました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和2年2月12日
我孫子市小中一貫教育だより
第225号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

教育ミニ集会や小中一貫の日が行われたうなー！

布佐中学校区 教育ミニ集会

12月9日に、布佐中学校で、3校合同教育ミニ集会が開催されました。ソフトバンク（株）の河田和男氏を招いて、「e-ネット安心講座」が行われました。講演ではインターネットの利便性や、ネット社会で起こりうるトラブルや犯罪の危険性についてお話をいただきました。



協議では、子ども達の安全を守るためにそれぞれの立場でできることは何かについて話し合いました。子ども達には繰り返し指導をする大切さや、教員だけでなく、保護者も含め大人が新たな情報を取り入れていくことの必要性について意見が出されました。



白山中学校区 小中一貫の日



12月18日に、白山中学校で小中一貫の日が行われました。前半は、SGE*活動を行いました。小学生も、中学生にリードしてもらいながら少しずつ打ち解け、楽しく活動していました。

後半の集会では、中学生がそれぞれ趣向を凝らした演出で自分たちの部活動をアピールし、小学生だけでなく先生方からも拍手喝采でした。また、児童会と生徒会の子ども達が、寸劇を取り入れながらやりとりし、中学校生活についてのきまり等について確認をしました。



6年生からは、中学校進学への期待が膨らみ、不安が軽減されたことや、中学生への憧れの気持ちなどの感想が聞かれました。
*SGE(構成的グループエンカウンター)…決められた枠組(時間や場の制約、課題等)を設定し、ふれあい体験や自己発見をねらいとした活動

湖北中学校区 小中一貫の日

1月29日に、湖北中学校で小中一貫の日が行われました。前半は、6年生が英語と保健体育の体験授業を行いました。中学校の教員の授業を初めて体験して、やや緊張した様子でしたが、真剣に活動に取り組む姿が見られました。



後半は、部活動見学・体験が行われました。実際に先輩からアドバイスを受れたり、作品を鑑賞したりと部活動で活躍する姿を間近に見ることができました。6年生は様々な経験を通して、進学への期待が高まったようです。



湖北台中学校区 小中一貫の日



1月30日に、湖北台中学校で、小中一貫の日が行われました。

まず初めに、それぞれのクラスで、中学生の合唱を聴いたり、6年生も一緒に発声練習をしたりして、歌を通しての交流が行



われました。豊かな響きの中学生の歌声に、憧れの眼差しを向ける6年生。それから、30分ずつ2つの授業を、中学生と一緒に体験しました。



後半は、部活動見学が実施されました。当日は晴天に恵まれ、中学生の活動の様子や制作物を見学して回ることができました。

我孫子中学校区 小中一貫の日

1月30日に、我孫子中学校で小中一貫の日が行われました。今年、我孫子第二小学校、我孫子第三小学校、高野山小学校の6年生達がともに活動できるように、混合グループをつかって、授業体験や、部活動見学を実施しました。

授業体験では、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭科、外国語と様々な教科が展開されました。6年生は、



中学校での学習スタイルや、小学校よりももう一步踏み込んだ学習内容に触れ、興味を高めていました。グループ活動では、他校の6年生と意見を交わしながら、協力して課題解決に取り組む姿が見られました。



6年生にとっては、中学校生活のイメージが膨らんだだけでなく、2ヶ月後には、ともに学び活動する仲間と交流できたことが、大きな成果となったようです。

久寺家中学校区 小中一貫の日



1月30日に、久寺家中学校で小中一貫の日が行われました。6年生の中学校登校と合わせて、保護者への入学説明会も実施されました。

前半は、各教室で、国語や英語、数学、社会、道徳などの6年生の授業体験が行われました。様々な活動や意見交換を行いながら授業が進み、積極的に参加する6年生の姿が見られました。

後半は、部活動体験・見学が行われました。興味を持っている部活動がある児童は、実際に希望した部活動で体験活動を行い、様々な部活動の様子を知りたい児童は、見学ツアーに参加します。中学生とともに練習やゲームを楽しんだりする様子は、とても楽しそうでした。



入学説明会を終えた保護者も、授業や部活動の様子を参観し、親子で中学校体験を共有することができたようです。



T S U N A G U

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

令和2年3月4日
我孫子市小中一貫教育だより
第226号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT・ふるさとを活用した授業が行われたうなー！

我孫子第二小学校

友だちに、もらってうれしいメールを送ろう



2月19日に、3年生でAbi-ICTを活用した授業が行われました。授業では、学習の導入として、子どもたちにとって身近な「手紙」を題材にして情報モラルについて学びました。

子どもたちは、資料に登場する主人公の作ったメモ手紙をもとに、人によって「嬉しい」と感じる言葉には違いがあることに気づくと、「どうすれば、もらった相手が『嬉しい』手紙になるのか」をテーマに、話し合いました。その中で、相手の性格や状況を踏まえて伝える大切さを学びました。

授業の後半では、実際に隣の席の友だちに手紙を送る体験活動を行いました。前半での学びが生かされ、相手の良さを伝えたり、頑張っていることを応援したりするメッセージがたくさん書かれていました。

メールやSNSでのやりとりは、顔の見えない相手とのコミュニケーションです。相手の立場に立ち、相手のことを思いやって言葉を選び伝えることが、さらに大切になります。こうした体験活動を通して、コミュニケーション力を高め、また情報モラルへの意識を高めていきます。



我孫子第四小学校

「血脇守之助」

2月26日に、6年生でAbi-ふるさと「血脇守之助」の授業が行われました。子どもたちは、「血脇守之助」の名前を聞くと、手賀沼のほとりにある碑や、野口英世との関わりについて声が上がリ、地域の先人として認識している様子がよく伝わってきました。



実際に「ふるさと我孫子の先人たち」を資料にして、血脇氏の生い立ちや野口英世との関わりについて学習を進めていくと、血脇氏自身が挫折を乗り越え努力し、日本歯科学に大きく貢献したことや、野口英世に対して様々な援助をして彼の業績を支えたことなどがわかりました。

また、血脇氏の野口英世への思い、野口英世の血脇氏への感謝の気持ちなどを友だちと話し合いながら想像することにより、より深くその人物像を理解することができました。

授業後の感想では、血脇氏への尊敬の気持ちや、自分たちのふるさと我孫子にこうした先人がいることを誇りに思う気持ちなどが書かれていました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和2年3月6日

我孫子市小中一貫教育だより

第227号

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうきやまさん」



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

「我孫子市小中一貫教育基本方針」が
令和2年2月に改訂されたうなー！

令和2年度より、
この方針に基づ
いて我孫子市の
小中一貫教育を
推進します！



「生きる力」の育成

〔我孫子市小中一貫教育が目指す子ども像〕

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども (郷土愛)
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども (未来を拓く力)
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども (輝く心)

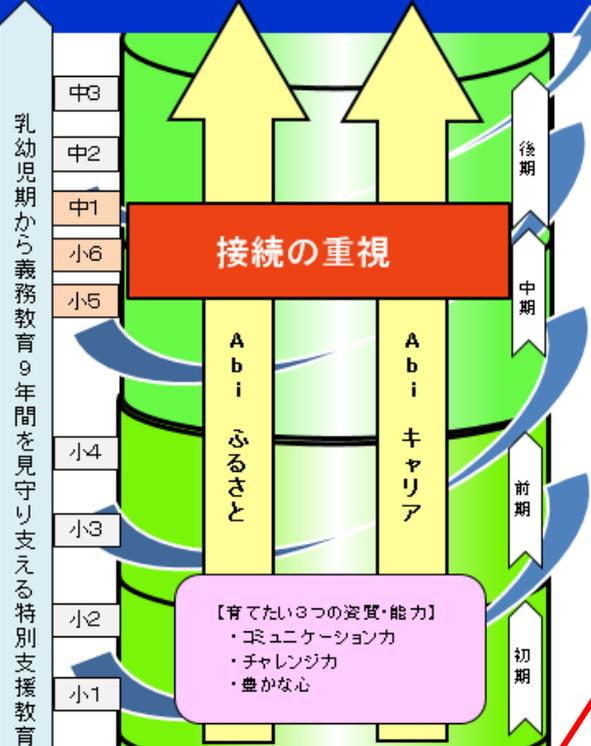
〔目指す子ども像〕

- 郷土愛
- 未来を拓く力
- 輝く心

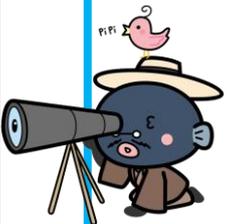
我孫子市の小中一貫教育の象徴！

〇Abi-キャリア
〇Abi-ふるさと

≡ 学びの資源 ≡
「ふるさと我孫子」の自然・伝統文化・歴史・産業・地域の人々
〔手賀沼 利根川 祭り 郷土芸能 道跡 史跡 街道 先人・・・〕



中期から後期
への接続をより
重視します！



我孫子市らしさを一層
大切にしていこうな～！

保育園・幼稚園・認定こども園 等

〔成長と学びの土台となる力〕

- 〇Abi-道徳
- 〇Abi-English
- 〇Abi-ICT

我孫子市の小中一貫教育は小学校6年間、中学校3年間の体制を維持しながら、学習指導要領の規準に基づいて推進していきます。特に「中期（小5・6）」から「後期（中1～3）」への滑らかな接続を図る指導を充実します。

【我孫子市小中一貫教育基本方針 改訂の主なポイント】

目指す子ども像

「郷土愛」「未来を拓く力」「輝く心」の3つの柱に基づき、育みたい力を「初期」「前期」「中期」「後期」の発達段階ごとに示しました。（「我孫子市小中一貫教育基本方針」P7～9 参照）

小中一貫教育推進の方法

「環境」「学習」「人」でつなぐことを目指し、その内容を整理しました。特に、「環境」については、これまで「我孫子スタンダード」としてきたものを、学習面や生活面において、児童生徒の発達段階を加味した「きまり」等をそれぞれの中学校区で柔軟に設定できるようにしました。（「我孫子市小中一貫教育基本方針」P10～11 参照）

具体的な小中一貫教育活動の内容

（1）我孫子市共通カリキュラム「Abi☆小中一貫カリキュラム」

我孫子市小中一貫教育の大きな柱であるこのカリキュラムについて、より一層我孫子市のオリジナル性を打ち出すため、我孫子市の教育を象徴する「Abi-ふるさと」「Abi-キャリア」の2本の柱と、子ども達の成長や学びの土台となる「Abi-道徳」「Abi-English」「Abi-ICT」に整理しました。

（2）確かな学力の育成と、個の教育的ニーズに応じた特別支援教育

学習指導要領に準拠した教科領域指導を実施し、基礎学力の定着を図ります。また、小学校から中学校への接続を重視した特別支援教育を推進します。特別支援教育については、活用できる資料を作成します。（「我孫子市小中一貫教育基本方針」P12～13 参照）

Abi☆小中一貫カリキュラム 各分野の特徴（令和3年度より試行実施予定です）

◎Abi-ふるさと

- ・学習指導要領に基づく各学年各教科・領域のカリキュラムに「ふるさと学習」を組み入れます。
- ・中学校区独自の地域性を生かした学習を目指します。
- ・発達段階に応じて視野を広げ、千葉県、日本の、世界における我孫子市の姿を見つめ、理解を深めるとともに、郷土を愛し誇りに思う心を持ち、世界に羽ばたくことのできる子を育成します。

◎Abi-キャリア

- ・学習指導要領に基づく9年間の学びの中で、特別活動を要としつつ各教科等の特質に応じて「キャリア教育」の充実を図ります。
- ・「いのち・こころ・からだ」の学習を、Abi-キャリアに位置づけます。
- ・「食育」についての学習をAbi-キャリアに位置づけます。
- ・我孫子市「キャリア・パスポート」を活用します。

◎Abi-道徳 ～我孫子の先人を通して郷土愛を育む～

- ・地域に根ざした道徳教材として、我孫子の先人を教材とし、学習を実施します。

◎Abi-English ～小学校第1学年からの系統的な学び～

- ・小学校1, 2年については、我孫子市独自のカリキュラムを実施します。
- ・小学校3年生以上については、学習指導要領にもとづき、我孫子市の地域性を生かした教材や、我孫子市独自の指導方法を取り入れます。

◎Abi-ICT ～ICT教育の活用・推進～

- ・情報リテラシー教育、ICT機器スキルを系統化し、系統的に学習します。

令和2年度は、この改訂を受けて、Abi☆小中一貫カリキュラムの改訂を行ううな～！

